

弓道専門部

専門部長 今田 康光

専門委員長 原 奈緒子

1. 昨年度の大会について

新人大会、九州新人選手権大会

新チームになって初めての県大会である。中には公式戦自体が初めてとなる1年生も出場する。1チーム5名で予選2立(1チーム合計40射)を行い、上位5チームで決勝リーグ戦を行う。女子は武雄と唐津東が3戦1敗で並び、総的中の結果、武雄が優勝、2位唐津東であった。また3位は白石であった。男子は武雄が4戦全勝で優勝、早稲田佐賀と鹿島が2勝2敗で並び、総的中の結果、2位早稲田佐賀、3位鹿島であった。

女子個人戦は8射7中の野口萌花(武雄)が優勝。以下6中の選手が並んだが、競射の結果、2位藤みどり(武雄)、3位中島理菜(武雄)であった。男子個人は8射6中の選手が並び、競射の結果、高柳幸輔(唐東)が優勝。以下2位吉川幸大(唐商)、3位河野祐満(致遠)であった。

なお、九州新人弓道大会は新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

高校選手権大会兼全国選抜大会佐賀県予選会

1チーム3名で予選3立(1チーム合計36射)を行い、上位5チームで決勝リーグ戦を行う。女子は早稲田佐賀と鹿島が3勝1敗で並んだが総的中数により早稲田佐賀が優勝。男子は早稲田佐賀が4戦全勝で優勝し、男女ともに全国大会への出場を果たした。個人戦は女子では12射10中で三浦凜子(武雄)が優勝、2位は9中の小野原暖花(鹿島)であった。男子個人では12射11中で宮崎蒼真(唐東)が優勝、2位は10中の井本幸希(早佐)であった。

男女各1校が岐阜県で開催された第39回全国高校選抜弓道大会に参加した。(個人の部は中止となった)

U-16大会

H30年度より大会名を「U-16大会」とし、中学生からの参加も可能となった。R6年度「佐賀国スポ」を視野に入れながら、競技力向上を目的に行っている大会である。1チーム3名で予選2立(1チーム合計24射)を行い、上位8チームで決勝トーナメントを行う。女子団体は武雄Bが優勝、2位武雄Iであった。男子団体は唐津西が優勝、2位武雄Aであった。女子個人では8射6中の選手が並んだが、競射により島山栞(致遠)が優勝、2位塚本こころ(致遠)、3位小野原暖花(鹿島)であった。男子個人では8射5中の選手が並んだが、競射により小林朔太郎(早佐)が優勝、2位森岡大翔(清和)、3位廣木大空(早佐)であった。

高校2年生大会

平成25年度から新たに創設した県内大会である。全国選抜大会が3月から12月へと時期を早め、それに伴い県予選も早まったため、4月まで約5ヶ月間も実力を試す機会が無いことを憂え、2年生の強化、またR6年度「佐賀国スポ」を視野に入れながら、競技力向上を目的に行っている大会である。1チーム3名で予選2立(1チーム合計24射)を行い、上位12チームで決勝トーナメントを行う。女子団体は優勝鹿島、2位伊万里、男子団体は優勝武雄、2位唐津東であった。女子個人では8射7中の選手が2人いたが、山口千尋(唐西)が優勝、2位筒井彩音であった。男子個人では8射7中の選手が並んだが、競射により吉川幸大(唐商)が優勝、2位江頭大聖(武雄)であった。

遠的錬成大会

平成29年度より、国体強化を視野に入れて創設した県内大会である。例年武雄高校のグラウンドで、1チーム4名で予選2立、的中制で行われている。雨天により1日延期となった。女子団体は優勝鹿島、2位武雄、3位伊万里であった。男子団体は優勝鹿島、同中2位が多久、佐賀西A、佐賀西Bであった。女子個人は筒井彩音(鹿島)が優勝、男子個人は岩永佑也(鹿島)が優勝した。

2. 今年度の大会について

春季大会(高取杯)

年度の初めは佐賀県弓道連盟主催の春季大会から始まる。この大会は「高取杯」として佐賀県弓道界に功績の大きかった故・高取盛範士を顕彰して開催されるものである。1チーム5名で予選2立(1チーム合計40射)を行い上位16チームによるトーナメント戦で勝敗を喫する。この大会は例年、佐賀県高校総合体育大会の前哨戦として注目されている。

女子団体は早稲田佐賀が優勝、2位武雄、3位小城であった。男子団体は唐津工業が優勝、2位武雄、3位小城であった。女子個人は8射皆中で永田桐子(唐東)が優勝、2位橋川莉奈(佐西)、3位炭屋杏(佐女)であった。男子個人は8射皆中で園田佑星(唐工)が優勝、2位霧林奏(武雄)、3位森永光之輔(致遠)であった。

高校総体

1チーム5名で予選3立(1チーム合計60射)を行い上位7チームによるリーグ戦で勝敗を喫する。本大会を目標にしている選手も多く、毎年熱い試合が行われる。団体男女優勝校が全国大会、優勝および2位が九州大会へ出場、個人男女優勝および2位が全国大会、1位から5位までの選手が九州大会へ出場する。

女子団体は唐津東が優勝、2位武雄、3位早稲田佐賀であった。男子団体は武雄が優勝、2位鹿島、3位唐津東であった。女子個人は永田桐子(唐東)が優勝、2位山崎彩也香(佐女)、3位岩瀬彩(早佐)、4位藤みどり(武雄)、5位中島常葉(致遠)であった。男子個人は大川翔吏(早佐)が優勝、2位末永脩(唐工)、3位市橋健成(早佐)、4位迎青龍(武雄)、5位右近真基(小城)であった。

なお九州総体は新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

九州ブロック国体

福岡県で開催された九州ブロック国体では、少年男子(園田(唐工)、吉川(唐商)、松尾(武雄))、少年女子(山口(鹿島)、小野原(鹿島)、野口(武雄))がともに総合4位となったが、本国体の出場権は得られなかった。なお本国体は新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

3. 弓道専門部活動について

令和元年度末より、新型コロナウイルスの影響で例年通りの練習や試合が行えず、新チームになってからも県大会はできて上位大会が中止になる大会もありました。そのような中でも生徒たち懸命に弓を引いています。団体のみ開催された全国選抜大会では、男子団体で早稲田佐賀が予選を通過しました。また今年度のインターハイでは、男女ともに団体は予選を通過し、決勝トーナメントに進出しています。

令和6年に佐賀県で行われる国民スポーツ大会を見据えて平成29年度より新たに遠的錬成大会を新設しました。国体では近的と遠的の2種目を行います。現在、高校生が参加する遠的大会が国体の予選会しかないため、遠的に触れる機会が少ないのが実状です。そのため生徒の国体参加への意識向上と顧問の指導力向上を目的とし新設することとなりました。また、平成30年度より弓道1年生錬成大会の名称を国民スポーツ大会強化競技力向上推進事業にかかる佐賀県弓道錬成大会(U-16大会)としました。これまでは高校1年生のみが参加できる大会でしたが、参加の対象を中学生まで広げ、競技力の向上に取り組みました。遠的大会やU-16大会、2年生大会を契機に遠的競技にも親しみを持ち、弓道の裾野を少しでも広げることができればと思います。

最後になりましたが、日頃から、佐賀県高校弓道へのご理解とご協力を賜っている佐賀県弓道連盟、佐賀県高等学校体育連盟をはじめ、県内高校弓道関係者の皆様にご心より感謝いたします。また、今後とも佐賀県高校弓道部員と弓道専門部にお力添えをいただきますよう、心よりお願いいたします。

4. 県内大会結果

令 和 2 年 度	大会	区分		1位		2位		3位	
		新人大会	男子	個人	①高柳 幸輔 (唐東) 6中 ④永田 竜也 (唐西) 6中	②吉川 幸大 (唐商) 6中 ⑤小笠原恭太 (鹿島) 6中	③河野 祐満 (致遠) 6中		
			団体	武雄高A 4勝0敗 45中	早稲佐A 2勝2敗 43中	鹿島高A 2勝2敗 40中			
		女子	個人	①野口 萌花 (武雄) 7中 ④片淵 朔来 (白石) 6中	②藤 みどり (武雄) 6中 ⑤山口 舞花 (鹿島) 6中	③中島 理菜 (武雄) 6中			
			団体	武雄高A 3勝1敗 52中	唐津東A 3勝1敗 39中	白石高A 2勝2敗 33中			
	兼 全 国 選 拔 予 選	男子	個人	宮崎 蒼真 (唐東) 11中	井本 幸希 (早佐) 10中	横尾 将英 (致遠) 10中			
			団体	早稲佐A 4勝0敗 40中	鹿島高A 3勝1敗 30中	唐津東A 2勝2敗 29中			
		女子	個人	三浦 凜子 (武雄) 10中	小野原暖花 (鹿島) 9中	江頭 育美 (佐北) 8中			
			団体	早稲佐A 3勝1敗 37中	鹿島高A 3勝1敗 27中	武雄高B 2勝2敗 24中			
	C の 大 会	男子	個人	小林朔太郎 (早佐) 5中	森岡 大翔 (清和) 5中	廣木 大空 (早佐) 5中			
			団体	唐津西A 6/7/7	武雄高A 5/6/6	早稲佐B・鹿島高A			
		女子	個人	畠山 栞 (致遠) 6中	塚本こころ (致遠) 6中	小野原暖花 (鹿島) 6中			
			団体	武雄高B 7/8/8	武雄高I 2/4/3	早稲佐A・佐賀北A			
	2 年 生 大 会	男子	個人	吉川 幸大 (唐商) 7中	江頭 大聖 (武雄) 7中	北 雅矢 (武雄) 7中			
			団体	武雄高A 6/9/10	唐津東A 8/6/4	佐賀西B・唐津工A			
		女子	個人	山口 千尋 (唐西) 7中	筒井 彩音 (鹿島) 7中	平川ひなた (鹿島) 6中			
			団体	鹿島高A 7/4/8	伊万里A 7/7/5/6	白石高B・佐賀北B			
	遠 的 錬 成 大 会	男子	個人	岩永 侑也 (鹿島) 5中	水町 (白石) 4中・園田 (唐工) 4中・津村 (鹿島) 4中 番場 (佐西) 4中・有富 (武雄) 4中				
			団体	鹿島高B 12中	多久高A 9中・佐賀西A 9中・佐賀西B 9中				
		女子	個人	筒井 彩音 (鹿島) 6中	吉岡 (白石) 5中・野口 (武雄) 5中・山口 (鹿島) 5中				
			団体	鹿島高A 13中	武雄高A 12中 伊万里A 8中				
	春 季 大 会	男子	個人	園田 佑星 (唐工) 8中	霧林 奏 (武雄) 7中	森永光之輔 (致遠) 7中			
			団体	唐津工A 11/15/11/13	武雄高A 11/17/11/11	小城高A・武雄高B			
		女子	個人	永田 桐子 (唐東) 8中	橋川 莉奈 (佐西) 7中	炭屋 杏 (佐女) 7中			
			団体	早稲佐A 14/11/14/13	武雄高A 10/12/11/12	小城高A・佐女子A			
	高 校 総 体	男子	個人	①大川 翔吏 (早佐) ④迎 青龍 (武雄)	②末永 脩 (唐工) ⑤右近 真基 (小城)	③市橋 健成 (早佐) ⑥香田 遼馬 (白石)			
			団体	武雄高A 6勝0敗 84中	鹿島高A 5勝1敗 77中	唐津東A 3勝3敗 70中			
		女子	個人	①永田 桐子 (唐東) ④田島 史奈 (早佐)	②山崎 彩也香 (佐女) ⑤藤 みどり (武雄)	③岩瀬 彩 (早佐) ⑥中島 常葉 (致遠)			
			団体	唐津東A 5勝1敗 72中	武雄高A 4勝2敗 72中	早稲佐B 4勝2敗 64中			
		国 体 選 考	遠的	男子	吉川 幸大 (唐商) 50点	松尾 海渡 (武雄) 44点	馬場 偉月 (鹿島) 44点		
				女子	狩長 愛璃 (佐女) 58点	山口 舞花 (鹿島) 52点	野口 萌花 (武雄) 49点		
	近的		男子	園田 佑星 (唐工) 9中	末永 脩 (唐工) 8中	原田 健心 (伊高) 8中			
			女子	池田 彩佳 (鹿島) 8中	野口 萌花 (武雄) 8中	青木 唯 (佐北) 7中			

5. 九州大会・全国大会の成績

第28回 九州高校弓道新人選手権大会

新型コロナウイルス感染症予防のため中止

第39回 全国高校選抜弓道大会 [岐阜メモリアルセンターで愛ドーム：岐阜市] (R2.12/24~26)

男子団体 早稲佐 予選 8中/12射で通過 (予選 7位外)
決勝トーナメント1回戦 対 県立鳥取西 (鳥取) 4-8で敗退

女子団体 早稲佐 予選 6中/12射で敗退

新型コロナウイルス感染症予防のため個人戦は中止

第66回 全九州高校弓道競技大会

新型コロナウイルス感染症予防のため中止

第66回 全国高等学校弓道大会

男子団体 武雄高 予選 11中/20射で通過
決勝トーナメント1回戦 対 慶応 (神奈川) 9-14で敗退

女子団体 唐津東 予選 11中/20射で通過
決勝トーナメント1回戦 対 島田商 (静岡) 10-13で敗退

男子個人 早稲佐 大川翔吏 2中で予選敗退
唐津工 末永 脩 2中で予選敗退

女子個人 唐津東 永田桐子 2中で予選敗退
佐女子 山崎彩也香 2中で予選敗退

第41回 九州ブロック国体

少年男子 (園田 (唐工)、吉川 (唐商)、松尾 (武雄)) 総合4位
少年女子 (山口 (鹿島)、小野原 (鹿島)、野口 (武雄)) 総合4位